八重樫東 あす防衛戦

WBCフライ級

北上市新穀町出身の世界ボクシング評議会（WBC）フライ級王者八重樫東選手（30）＝大橋ジム＝の初防衛戦は12日、東京都の大田区総合体育館で行われる。八重樫選手は、同級11位のオスカル・ブランケット選手（メキシコ）の挑戦を受ける。

八重樫選手は黒沢尻工業高校、拓殖大卒。2005年にプロデビューし、11年に世界ボクシング協会（WBA）ミニマム級王座を獲得。12年6月に井岡一翔選手（井岡ジム）とのWBA、WBC王座統一戦に臨み、判定で惜敗。階級を二つ上げ、今年4月8日にWBCフライ級王者の五十嵐俊幸選手（帝拳ジム）とのタイトル戦に挑み、3―0の判定勝ちで王座を勝ち取った。プロ通算成績は20戦17勝（9KO）3敗。

挑戦者のブランケット選手は、1985年メキシコ生まれ。2003年プロデビュー。09年から11年にかけて12連続KO勝ちの記録をつくるなど、強打が持ち味。プロ通算成績は38戦32勝（23KO）5敗1分。

同日は山中慎介選手（帝拳）が王座を守るWBCバンタム級タイトルマッチも行われ、日本テレビ系列で午後7時から中継を予定している。

公園清掃参加 感謝込め

中学野球部にボール寄贈

上野会

北上市上野町の地域住民でつくる上野会（木野義治会長）は8日、地域の奉仕作業に協力する上野中学校野球部に練習用ボールを寄贈した。地域住民らによって整備、管理されている市景観資産「新堰水辺公園」の清掃作業への参加に感謝し、さらなる躍進を願った。

同公園は、2010年に市景観資産に認定された。親水部の自然ゾーンなどさまざまな水辺環境を有し、四季を通して地域住民に親しまれ、地域住民らでつくるボランティア団体「堰会」などが毎年清掃作業を行い、夏休み中は同中野球部も協力している。

ボールの寄贈は同公園で行われ、木野会長が同部の菅野大樹部長（2年）にボールを手渡した。菅野部長は「地域のためと思って毎年奉仕作業に参加している。もらったボールを使って、大会に向けてまた頑張っていきたい」と話していた。

同日は同公園の清掃奉仕作業も行われ、堰会の会員と野球部員ら30人が、植木の剪定（せんてい）作業などに汗を

西和賀

大学生ら活力全開

演劇合宿の成果披露

西和賀町内で合宿に取り組む演劇に関係する大学生らは10日夕、同町の銀河ホールで演劇を上演した。町民も出演し、若者たちと一緒にエネルギーあふれるパフォーマンスで活力の光を放った。

この企画は、同町の関係者らで組織する銀河ホール学生演劇合宿事業実行委員会が、町内の演劇専用ホールを活用して、全国の若者に演劇に没頭できる環境を提供しようと実施している演劇合宿事業の一環。

成果発表の意味合いで行われた「鬼剣舞甲子園2028」をテーマとする演劇上演には、大学生や大学OB、町民が出演した。

劇は、東日本大震災の復興支援の一環で創設された高校伝統芸能コンクール・鬼剣舞甲子園が、北上を中心とする東北地方で定着しつつあるという設定。主人公が入学した高校の鬼剣舞部には、鬼剣舞のことをろくに知らない部員ばかり。校長によって甲子園で入賞しなければ廃部にされる危機に直面する―というストーリー。

過疎化の進む町を舞台に、部の存続を懸け新入部員2人が奮闘する姿を描いた青春コメディーを披露した。鑑賞に訪れた人たちは若さみなぎる演技を楽しんだ。

また、この時期合宿中の美術系学生らが、湖に沈んだ集落を表現しようと流木や木の枝で制作した家型の灯籠を錦秋湖に浮かべ、雰囲気を盛り上げた。

全国から集まった学生らが合宿の成果を披露した演劇上演

元日本代表選手

専北高サッカー

北上市の専大北上高校サッカー部は、10日から2日間の日程で元日本代表選手らの指導によるサッカークリニックに取り組んでいる。初日の北上総合運動公園一運動場で基礎を図った。

2年に1度の

アユ釣り大